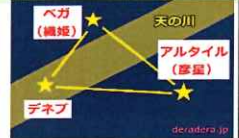




7月の歳時記(文月/July) 暑中お見舞い申し上げます



STOP  
熱中症

★ 七夕の星空

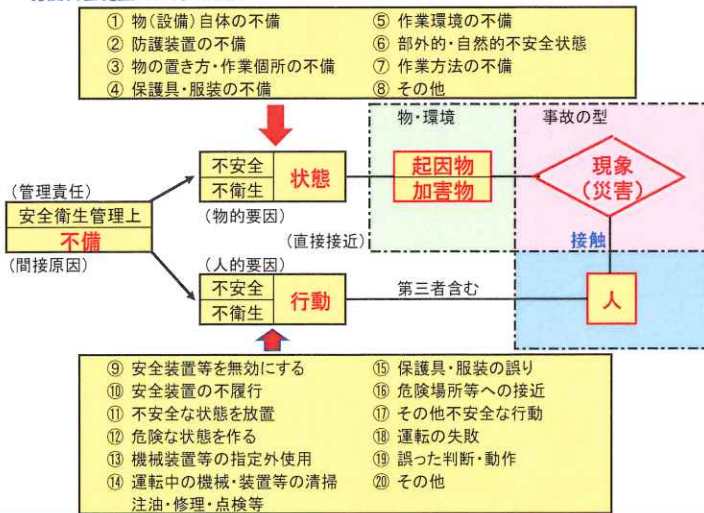
七夕は、7月7日の夜に星を祭る年中行事  
七夕の物語は、織姫と彦星が天の川を挟んで離れ離れとなり、年に一度逢える日とされていますが如何に…。織姫星はこと座の『ベガ』、彦星はわし座の『アルタイル』で七夕の頃は、21時頃東の空に明るく輝く1等星です。  
2つの星は天の川を挟み輝き、その距離は約16光年あります。1光年は光が1年間で進む距離、約9兆4600億kmですから相当な遠距離結婚、光の速さで通信しても片道16年かかり、返事を返してもさらに16年、32年かかって返事が到着します。  
マッハ10程度だと150万年、ワープでもしないと。なんとも夢のない話で申し訳ない。逢えるのは物語上の話で、実際は2つの星が接近することはないのです。江戸時代にタライに水を入れ星を映し、水面を揺らし2つの星をくっつけようとしたのだとか、なんとも粋なことをしたものです。

物語では、カササギが橋をかけ織姫を彦星の所へ渡してくれますが、星空にも橋渡し役がちゃんといます。それは、天の川に沿うように位置している白鳥座。2つの星の間で大きな翼を広げています。白鳥座の『デネブ』と『ベガ』そして『アルタイル』の星を結んでできた大きな三角形を『夏の大三角』と呼びます。7月7日21時頃、東の低空に「夏の大三角」を見つけてことができ、段々と高く昇っていきます。星座速見盤などを使って星の並びを見ながら、星と星を結んで夜空の星座の形を描いてみましょう。夜間の照明による「光害」の影響が深刻となり、七夕に欠かせない天の川が、消えてなくならないよう織姫と彦星の輝きが、星空との共存を望むメッセージかもしれません。

★ こよみ: 半夏生(2)、小暑/七夕(7)、旧盆(15)、藪入り(16)、海の日(17)、大暑(23)、土用の丑の日(30)

I 全国労働安全週間(7/1~7)

労働災害発生のメカニズム



高める意識と安全行動  
築こうみんなのゼロ災職場

全国安全週間は、労働災害を防止する為に産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的とした活動です！

★災害発生のメカニズム

労働災害は、『不安全な状態』と『不安全な行動』が接触した現象で、要因は『安全衛生管理上の不備』が存在することにより生ずる！

★災害を防止するには

『正しい判断の下、正しい行動』が大前提！『面倒くさい』『自分は大丈夫』『人任せ』を捨てることにより多くの『労働災害』が防止できる！

II 熱中症に注意！ 気温・湿度・通風を常に意識。作業環境・内容・を把握。体調を加味し行動する。

III 感染症に注意！ 手洗い・消毒の徹底！ 食中毒予防3原則順守！ 冷蔵庫を過信しない！

IV 第23期株主総会 全議案承認して終了(6月21日)

- 新役員人事 代表取締役会長 佐藤 正  
専務取締役管理部長 矢島 哲雄(昇任)  
社外取締役 金生谷 良男(旭新運送(株)専務取締役)  
社外監査役 澤田 俊夫(株)ADEKA鹿島工場長



この陣容をもちまして、一丸となり社業発展のため精励努力する所存であります。ご支援願います！



決めたこと 守る勇気と続ける努力 自分で作る 安全職場

「過信と疲労」もち過ぎに注意！ 持つべきものは「心の余裕」 ご安全に！